

PFAS 代替品開発の基礎と応用、動向

講師： 畠山 達彦 氏

(株)DCTA 代表取締役

講演主旨：PFAS（パーフルオロアルキル物質、及びポリフルオロアルキル物質）は、そのユニークで有用な特性から広範な産業用途で利用されていますが、環境及び人体の安全性に関する懸念が高まっています。本セミナーでは、PFAS の特徴、規制、健康や環境への影響を中心に、代替材料の開発動向、IoT や AI を活用したサプライチェーンの透明性・品質管理の現状を解説します。また、新たに「ePTFE が拡張 PFAS として解釈されるべきか」や「PFAS の水質分析方法」に関するトピックを加え、より深い議論と実践的な情報提供を目指します。これらを通じて、参加者の皆様が PFAS 問題への理解を深め、現場での対応に役立てていただける内容をお届けします。

【講師経歴】1989 年三菱化学入社。プラスチックの開発・技術・生産を経て、三菱化学グループ（国内・中国）内製工場設立や設計、建築、立ち上げ、製造部責任者を歴任。2014 年に立ち上げた DCTA 社では、前職の生産管理スキルを活かし、製造系企業の工場改善支援や経営改革コンサルタント事業を中心にプラスチックのリサイクル技術開発や商品展開様々な工場運営に関わる IoT や AI ソリューションの構築などの活動を行っている。また、 γ 線を遮蔽するフレキシブルコンテナ技術（特許）で、福島原発復興 PJ に参画中。一方、環境事業も積極的に展開しており経済産業省主催の CLOMA（クリーンオーシャンマテリアルアライアンス）活動のチームリーダーを務め、インドネシア、ベトナム、フィリピン、モーリシャスでの海洋プラスチックごみ削減プロジェクトを担当。国際的な廃棄物管理とリサイクル技術に関する深い知見を持ち、地域ごとの廃棄意識やリサイクル温度差を把握し、具体的な対策を提案している。その上、海外・現地の担当者・要人ともネットワークがあり、PFAS を含めた化学物質法規制動向にも明るい。

【活動】高分子学会賞受賞、特許（数十件出願）CLOMA（クリーンオーシャンマテリアルアライアンス）、RECEIC ボードメンバー

開催日時	2026 年 1 月 14 日（水）13：30～16：30	※本セミナーは、 当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	44,000 円（税込） ※ 資料付 * メルマガ登録者 39,600 円（税込） * アカデミック価格 26,400 円（税込）	

* アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。

★ **【メルマガ会員特典】**2 名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、**1 名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。**

★ **【セミナー対象者】**・フッ素/PFAS を含有する材料メーカーやその材料のユーザー・製品含有化学物質に関する法規制に対応している方
・PFAS についての情報収集をしている方、最新動向を押さえたい方・PFAS 代替技術の研究開発に従事している方・PFAS を用いた製品設計をされている方
・PFAS に関わるトレーサビリティや品質管理に注目されている方・IoT や AI を活用したサプライチェーン管理や監視技術の導入を検討している方
・ePTFE の解釈に関する知見を深めたい方・PFAS の水質分析に関心のある研究者や技術者

★ **【得られる知識】**・PFAS の基礎知識と概況・PFAS を巡る国内外の関連規制・PFAS を巡る各国の企業対応状況・PFAS 代替技術や代替品に関する研究開発動向・PFAS に関する研究・品質管理・サプライチェーンなどに対する IoT や AI 活用事例・PFAS 問題についての講師の私見・展望 等

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

1. 会社紹介 2. PFAS とは 2.1 PFAS の特徴 2.2 活用シーン 3. PFAS の懸念点 3.1 環境汚染 3.2 生物への影響 3.3 健康への懸念 3.4 規制措置 4. PFAS 規制措置と各国の対応状況 5. 代替技術や代替品の研究開発動向 5.1 バイオベース 5.2 フッ素を含まない素材ベース 5.3 高度材料工学	5.4 2024 年最新動向 6. 製品設計見直しによる代替品性能向上 7. 留意点 7.1 サプライチェーンの透明性 7.2 情報共有 7.3 継続的な監視とコンプライアンス 7.4 AI やデジタルツインを活用した PJ の加速 7.5 その他 7.6 今後の展望 8. PFAS 水質分析の現状と展望 8.1 水質分析の重要性：汚染の現状と規制基準 8.2 代表的な分析方法 8.3 分析の課題と解決策 8.4 将来の技術トレンド：高速分析、AI の活用	9. ePTFE を巡る規制動向（拡張 PFAS として解釈されるのか） 9.1 ePTFE の概要と特性 9.1.1 ePTFE の化学構造と用途 9.1.2 PFAS との類似性・相違性 9.2 拡張 PFAS の概念と規制動向 9.2.1 国際的な定義の比較（EU、米国、日本） 9.2.2 拡張 PFAS として解釈される場合の影響 9.3 技術的・法的議論 9.3.1 ePTFE が環境及び健康に与える影響の検証 9.3.2 企業対応の現状と事例 9.4 今後の展望 9.4.1 規制基準の統一化の可能性 9.4.2 ePTFE の代替材料の研究開発
---	---	---

弊社記入欄		ウェビナー申込書			
セミナー名		PFAS 代替品開発の基礎と応用、動向			
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		会社名（団体名） 住所 〒		TEL： FAX： E-mail：	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職	氏名	
お支払方法		銀行振込・その他		お支払予定	2025 年 月 日頃

■ 申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (order_7053@cmcre.com) でお申し込みください。
■ セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。
■ 申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL 03-3293-7053
■ 本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com/>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

2026 年 1 月 14 日（水）開催

PFAS 代替品開発の基礎と応用、動向

講師： 畠山 達彦 氏

(株)DCTA 代表取締役

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- ・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- ・当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- ・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ・ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- ・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申込み後の流れ】

- ・開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- ・事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- ・セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- ・講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- ・資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- ・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- ・Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- ・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- ・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- ・本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- ・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- ・Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。